



# カメムシ発生注意!!

○6月27日の調査において、多くの地点でカメムシ類が確認されています。

うまい・きれい かほく米づくり運動では10の技術の実践を推進しています。確実に実践しましょう。

推進技術	目標	チェック
1~7	1. 播種量（うす播きの励行） 2. 育苗日数（健苗の育成） 3. 植付本数（細植の励行） 4. 栽植密度（優良茎の確保） 5. 適正な施肥（栄養凋落防止と登熟向上） 6. 田植え時期（早植えの防止） 7. 中干し・溝切り（遅発分けつの抑制）	
8	<b>除草・防除</b> (畦畔等除草とカメムシ防除の徹底)	・7月上旬までの追加除草 ・水稻の生育ステージにあわせた適期防除の実施
9	<b>水管理</b> (飽水管理の徹底)	・中干し後から出穂までの約1か月（コシヒカリ）の飽水管理 ・出穂から刈取り直前までの1か月以上の飽水管理
10	<b>刈取適期</b> (適期刈取りの励行)	・籾の黄化程度に応じた刈取り

## 今月のポイント① カメムシ対策：畦畔や農道の除草と仕上げ防除の徹底

○水田周辺雑草地のカメムシ類生息調査の結果（6月27日、37地点）

単位：1地点あたり平均頭数

地域	カメムシの種類						H30	H29
	シラホシ類	ホソハリ	アカヒゲ	アカスジ	クモヘリ	その他		
津幡山間	0.1	—	0.8	0.8	—	—	1.7	1.2
津幡平坦	0.2	—	0.3	0.6	—	—	1.1	0.9
高松	0.2	—	0.4	0.2	—	0.3	1.1	3.8
内灘	0.3	—	2.3	—	—	—	2.5	2.5
宇ノ気	1.0	0.1	1.6	0.4	—	—	3.2	3.9
管内平均	0.3	0.0	0.9	0.5	—	0.1	1.8	2.4

- ・アカヒゲホソミドリカスミカメをはじめとする飛翔性カメムシが多くの地点で確認されました。
- ・畦畔・農道の除草が行われている地区では頭数が少ない傾向にあります。

### 【カメムシ防除の鉄則は、①に『除草』、②に『適期防除』】

～①まずは、畦畔・農道の除草を～

畦畔や農道などの水田周辺の雑草地は、斑点米カメムシ類の生息地であり、繁殖地です。  
畦畔・農道の除草を7月上旬までに行い、カメムシ類の発生源をなくしましょう。

～②次に、出穂後の適期防除を～

本田カメムシ防除は、水稻の出穂7～10日後と14～17日後の薬剤防除を徹底してください。

カメムシによる斑点米で等級落ちが確認されています!!

斑点米の防止は除草と防除の合わせ技!

## 今月のポイント② 基幹防除を徹底し斑点米を追放しましょう！

営農の手引き46～47ページも参照ください。

### 〈粉剤体系〉

月	7月											8月																															
日曜日	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
生育ステージと防除	1回目 ビームトレモンセレン粉剤DL 4kg/10a 出穂3～1日前 出穂期											2回目 ビームスタークル粉剤5DL 4kg/10a 出穂7～10日後											3回目 ダントツ粉剤DL 4kg/10a 出穂14～17日後																				
	①イナゴ対策											②稲こうじ対策											③紋枯病対策																				
	1回目 ビームトレモンセレン粉剤DL 4kg/10a 出穂3～1日前 出穂期											2回目 ビームスタークル粉剤5DL 4kg/10a 出穂7～10日後											3回目 ダントツ粉剤DL 4kg/10a 出穂14～17日後																				

- ①イナゴ対策：『トレボン粉剤DL』を10アール当たり3kg散布する（散布時期 7月上旬～下旬）
- ②稲こうじ病対策：『Zボルドー粉剤DL』を10アール当たり4kg散布する（近年発生しているほ場、散布時期 出穂14日～10日前）
- ③紋枯病対策：『モンセレン粉剤DL』を10アール当たり3kg散布する（多発しているほ場、散布時期 7月上旬）

### 〈粒剤体系〉

月	7月											8月																															
日曜日	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
生育ステージと防除	イモチエースキラップ粒剤 3kg/10a 出穂14～10日前											キラップ粒剤 3kg/10a 出穂直後 ※イモチエースキラップ粒剤を散布した場合は不要																															
	イモチエースキラップ粒剤 3kg/10a 出穂14～10日前											キラップ粒剤 3kg/10a 出穂直後 ※イモチエースキラップ粒剤を散布した場合は不要																															

### 〈粉剤〉

- 1回目：ビームトレモンセレン粉剤DL：いもち病、紋枯病、カメムシ類、ウンカ類、イネツトムシ等（散布後22日以上経過しないと収穫できません）
- 2回目：ビームスタークル粉剤5DL：いもち病、カメムシ類、ウンカ類、ツマグロヨコバイ、イナゴ等（散布後8日以上経過しないと収穫できません）
- 3回目：ダントツ粉剤：カメムシ類、ウンカ類、ツマグロヨコバイ、イナゴ等（散布後8日以上経過しないと収穫できません）

### 〈粒剤〉

- イモチエースキラップ粒剤：いもち病、紋枯病、カメムシ類等（散布後36日以上経過しないと収穫できません）
  - キラップ粒剤：ウンカ類、カメムシ類（散布後15日以上経過しないと収穫できません）
- ⇒粒剤は湛水状態で散布し、3～4日湛水状態を保ってください。

## 今月のポイント③ 出穂後の水管理で乳白粒や胴割粒の発生を防止しましょう！

営農の手引き48ページも参照ください。

- 3～4日おきの通水（田面が常に湿っている状態）で根の活力を維持しましょう。
- 通水はできるだけ夕方に行い、翌朝速やかに落水しましょう。刈取り前5日頃までの継続を！
- 日中の常時湛水は厳禁です！⇒根が傷んでしまい、乳白粒や胴割粒の発生を助長することになります。
- フェーン現象の時は要注意です。天気予報を確認し、フェーン現象の予報が出された場合は湛水して備えましょう。

## JA石川かほく米555共励会 今月のポイント

- 畦畔や農道の除草は7月上旬までに実施し、出穂後2回の防除は適期に実施し、品質向上を図りましょう。
- コシヒカリの中干しは7月上旬頃まで継続し、過剰生育を抑えて乳白粒の発生を防止し、品質向上を図りましょう。
- コシヒカリの水管理は中干し終了以降間断通水とし、根の活力維持を図り、乳白粒の発生を防止し、品質向上を図りましょう。

農薬は使用基準を守り、市街地では農薬が飛散しないよう注意してください！

乳白粒防止対策Ⅱ3、4日おきの通水！ 日中の湛水はしない！

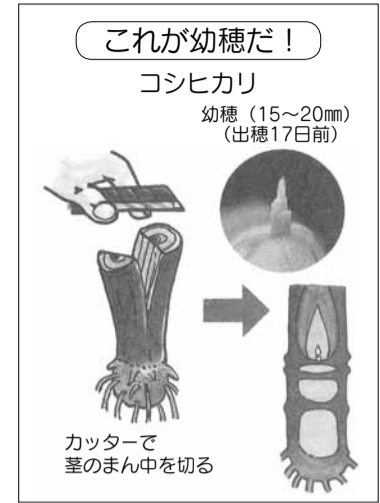
# 今月のポイント④ コシヒカリの穂肥

営農の手引き45ページも参照ください。

## コシヒカリの生育状況（管内生育観測田2か所平均、6月28日調査）

草丈 (cm)			莖数 (本/m <sup>2</sup> )			葉数		
本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
52.7	44.4	59.1	447	487	488	10.8	10.1	10.7

- 草丈：前年より長い、平年より短い
- 莖数：前年並み、平年並み
- 葉数：前年並み、平年並み



- 必要な莖数は確保されています。
- コシヒカリの出穂予想は、平坦部で7月30日頃、山間部で8月1日頃が見込まれますが、今後の気温が高く推移すると、早まる可能性があります。

- ①BBコシー発くんを施用したほ場では、穂肥の必要はありません。  
⇒基肥一発肥料は時期が訪れると穂肥の成分が溶け出し、葉色が濃くなります。
- ②分施肥系コシヒカリの穂肥 ⇒穂肥の1回目は幼穂長15~20ミリを確認して施用してください。

	裸地のはっきり見えるほ場 (葉色 3.5)		裸地の見えにくいほ場 (葉色 3.5 ~ 4.0)	
	1回目 BB有機入り いしかわライト550 13kg/10a	2回目 BB有機入り いしかわライト550 13kg/10a	1回目 BB有機入り いしかわライト550 7kg/10a	2回目 BB有機入り いしかわライト550 13kg/10a
	幼穂長 15~20ミリ	穂肥1回目の1週間後	幼穂長 15~20ミリ	穂肥1回目の1週間後
平坦	7月12日~14日	7月19日~21日	7月12日~14日	7月19日~21日
山間	7月14日~16日	7月21日~23日	7月14日~16日	7月21日~23日

※裸地が見えず、葉色が濃い場合は1回目は施用せず、2回目の時期にBB有機入り いしかわライト550 13kg/10aを散布してください。  
⇒収量や品質の低下につながるため、2回目の穂肥は省かないでください。

### 〈幼穂長と出穂前日数との関係〉

幼穂長 (ミリ)	出穂前日数	穂肥施用の指定日
1~2	- 23日	6日後
3~4	- 20日	3日後
15~20	- 17日	基準日

## コシヒカリ青田研修会日程表

(米米情報に日程表を掲載にて生産者案内とします。)

月日	曜	時間	対象地区	集合場所
7月11日	水	午後 5時30分~	舟橋・加茂・川尻	西部育苗センター
7月11日	水	午後 5時30分~	杉瀬・倉見地区	笠井会館前
7月11日	水	午後 5時30分~	内日角	公民館前
7月11日	水	午後 5時30分~	内高松・長柄町・二ツ屋	高松運動公園第2駐車場
7月11日	水	午後 5時30分~	浅谷・浅田	浅谷集会場前

月日	曜	時間		対象地区	集合場所
7月12日	木	午前	6時30分～	能瀬・領家・谷内・御門・ 下矢田	能瀬第2会館駐車場
7月12日	木	午前	6時30分～	笠谷地区	津幡東支店前
7月12日	木	午前	6時30分～	狩鹿野・指江・森・向野	JA野菜集荷場
7月12日	木	午前	6時30分～	中沼・夏栗・瀬戸町	中沼ライスセンター前
7月12日	木	午後	5時30分～	津幡・清水・加賀爪・庄	しょうず前
7月12日	木	午後	5時30分～	萩坂・倶利伽羅・寺尾地区	萩坂倉庫前
7月12日	木	午後	5時30分～	七瀬・宇気	北部育苗センター
7月12日	木	午後	5時30分～	黒川・八野・野寺	黒川お寺前
7月12日	木	午後	5時30分～	潟端、大田、北中条・南中条	中条ライスセンター前
7月12日	木	午後	5時30分～	種谷地区	種谷防災センター前
7月13日	金	午後	5時30分～	気屋・鉢伏・上山田・下山田	うのけ総合公園駐車場
7月13日	金	午後	5時30分～	元女・若緑	元女お寺前
7月13日	金	午後	5時30分～	河合谷地区	元河合谷店跡地
7月13日	金	午後	5時30分～	金津地区	金津保育園前
7月13日	金	午後	5時30分～	箕打	集会場前
7月13日	金	午後	5時30分～	西荒屋・室・宮坂	内灘北部店跡地裏圃場
7月13日	金	午後	5時30分～	向粟崎・大根布	元内灘町消防署裏